

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針」について

長野県教育委員会

すべての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現をめざして

新たな学びの推進

1 すべての高校が、これからの時代に必要とされる力を生徒に育む新たな学びに転換します。

(1) 「探究的な学び」の推進

- 「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力等」や「主体性を持って多様な人々と協働的に学ぶ態度」を育む学びの推進

(2) 各校の学びを体系的に示す「3つの方針」の策定と運用

- 「3つの方針」をすべての県立高校で策定

「生徒育成方針」

- ・卒業までに生徒にどのような力をつけるのかを示す

「教育課程編成・実施方針」

- ・学校全体として教育活動をどのように展開するのかを示す

「生徒募集方針」

- ・入学を希望する生徒へのメッセージとして、どのような生徒の入学を待っているか、どのような学校でどのような学びができるかを示す

- 「生徒育成方針」の実効性を検証するフィードバックシステムの構築（卒業生進路先への調査等）

(3) 入学者選抜制度改革

2 夢に挑戦できる多様な学びの場、学びの仕組みを整備充実します。

(1) 多様な学びの場の整備充実

- 総合学科高校、総合技術高校、多部制・単位制高校の充実・拡大、通信制の改革
- モデル校方式による新たな学びの場の創造

(2) 多様な学びの仕組みの整備充実

- ICT活用の推進 ○高校間連携・高大連携の推進
- 特別支援教育の充実 ○デュアルシステムの拡大等

3 新たな学びにふさわしい環境を整備します。

(1) 学習環境・生活環境の整備

- 再編に係る施設・設備の整備
- 既存校も計画的に整備（空調設備・洋式トイレ等）

(2) ICT環境の整備と充実

(3) 新たな学び推進のための人的配置

- ICT支援員等の外部人材・専門人材の活用

再編・整備計画

4 さらに少子化の進行に的確に対応します。

(1) 都市部（近距離に複数校、学びの場が確保できる）

- 小規模校分立を回避、教育効果・投資効果を最大化
- 新しい時代にふさわしい新しい学校を再編・整備

(2) 中山間地（学びの場の保障が必要）

- 魅力的な学びの場の創造に向けて、地域と協力して最大限の努力

5 多様な学びの場を全県に適切に配置します。

(1) 配置の基本的な考え方

- 地域全体及び県全体の高校の将来像を総合的に検討

(2) 校種ごとの配置の考え方

- 普通高校、定時制高校 旧 12 通学区を基本に配置
- 専門高校 旧 12 通学区を基本に、より広域にも配置
- 総合学科高校 4通学区を基本に配置
- 多部制・単位制高校 4通学区を基本に配置
- 通信制高校 東北信・中南信への配置を基本に、サテライト校の配置等も含めて検討

(3) モデル校の配置の考え方

- モデル校の特性と全県のバランスを考慮して配置

(4) 広域の検討が必要な場合の配置の考え方

- 地域の意見も聞きながら県教育委員会が広域的・多角的に判断

(5) 再編にともなう校地・校舎等の後利用の考え方

- 地域の意見も聞きながら、有効活用できるように検討

6 地域での検討を踏まえて「再編・整備計画」を確定し、再編を実施しない既存校も含めて計画的に整備を進めます。

(1) 地域での検討

- 「高校の将来像を考える地域の協議会」を設置

「高校の将来像を考える地域の協議会」

- 2019 年9月までに旧 12 通学区ごとに順次設置
- 旧通学区内の将来を見据えた高校の学びのあり方と具体的な高校の配置について検討
- 県教育委員会に対して意見・提案

(2) 「再編・整備計画」の確定

- 「協議会」の意見・提案を踏まえ、全県の視野に立って確定

スケジュール

令和 2 年（2020 年）3 月「再編・整備計画（一次分）」策定

令和 3 年（2021 年）3 月「再編・整備計画」確定

高校改革は地域振興や県発展の大きな礎であると捉えて、教育委員会のみならず県の組織全体で取り組みます。

旧 12 通 学 区 別 中 学 校 卒 業 予 定 者 数 の 予 測 (2017年～2033年)

長野県教育委員会 高校教育課
(単位：人)

	2017年 H29 (A)	2018年 H30	2019年 R1	2020年 R2	2021年 R3	2022年 R4	2023年 R5	2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8	2027年 R9	2028年 R10	2029年 R11	2030年 R12	2031年 R13	2032年 R14	2033年 R15 (B)	2017年と 2033年との 増減 (B)-(A)	2017年に対 する2033年 の比率 (B)/(A)
1 区	320	265	255	267	246	260	229	244	168	230	217	179	193	198	192	172	169	-151	53%
2 区	1,290	1,188	1,165	1,062	1,030	1,139	1,148	1,071	1,064	1,005	1,020	931	939	899	835	841	767	-523	59%
3 区	2,686	2,754	2,582	2,562	2,381	2,393	2,385	2,366	2,245	2,338	2,167	2,078	1,960	2,003	2,006	1,980	1,875	-811	70%
4 区	1,990	1,962	1,986	1,883	1,825	1,899	1,860	1,824	1,702	1,660	1,755	1,581	1,492	1,552	1,524	1,464	1,438	-552	72%
5 区	1,938	1,829	1,799	1,822	1,732	1,751	1,744	1,713	1,635	1,669	1,656	1,562	1,517	1,491	1,470	1,356	1,366	-572	70%
6 区	2,047	1,966	1,949	1,879	1,815	1,879	1,802	1,768	1,737	1,796	1,656	1,571	1,626	1,501	1,496	1,455	1,455	-592	71%
7 区	1,912	1,940	1,773	1,761	1,775	1,809	1,717	1,751	1,640	1,600	1,585	1,562	1,499	1,447	1,485	1,470	1,349	-563	71%
8 区	1,856	1,816	1,823	1,727	1,712	1,813	1,767	1,676	1,715	1,574	1,614	1,471	1,493	1,520	1,386	1,406	1,248	-608	67%
9 区	1,715	1,606	1,555	1,558	1,476	1,490	1,557	1,442	1,389	1,442	1,408	1,309	1,324	1,224	1,278	1,197	1,169	-546	68%
10 区	210	214	203	213	207	191	198	171	196	184	171	165	170	155	149	135	117	-93	56%
11 区	4,226	4,139	4,007	3,855	3,915	3,879	3,891	3,863	3,639	3,649	3,600	3,468	3,422	3,399	3,360	3,392	3,114	-1,112	74%
12 区	564	560	533	478	448	456	474	444	409	405	420	364	362	388	351	325	297	-267	53%
県全体	20,754	20,239	19,630	19,067	18,562	18,959	18,772	18,333	17,539	17,552	17,269	16,241	15,997	15,777	15,532	15,193	14,364	-6,390	69%

注) 2027年までは、2018年度学校基本調査による数。2028年以降は、2018年度長野県人口異動調査による数。

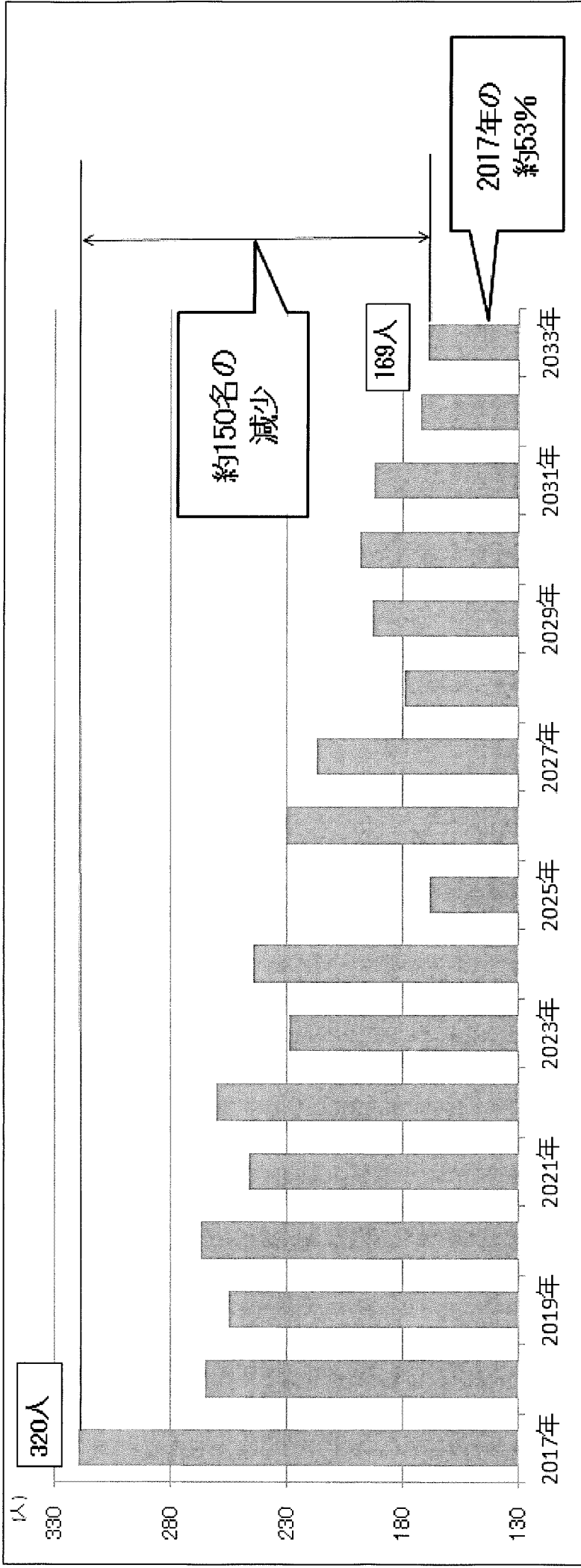
■旧第1通学区中学校卒業生数の予測

(単位：人)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2017年と 2033年 との増減	2017年に対 する2033年 の比率
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
1区	320	265	255	267	246	280	229	244	168	230	217	179	193	198	192	172	169	-151	52.8%
前年度比 増減	—	-55	-10	12	-21	14	-31	15	-76	62	-13	-38	14	5	-6	-20	-3		

注) 2027年までは、2018年度学校基本調査による数。2028年以降は、2018年度長野県人口異動調査による数。

(2018年9月作成)



令和元年 7 月 5 日

長野西高等学校 中条校（地域キャンパス）の状況について

高校教育課

- 1 地域キャンパス化 平成 21 年 4 月
 2 設置課程 全日制 普通科＜2 年次から「進学(文系理系)」 「教養」のコースに分かれる＞
 3 在籍生徒数

年度	1 年	2 年	3 年	合計
H29	29	29	21	79
H30	18	22	28	68
R 元	26	16	22	64

4 通学方法と所用時間（令和元年度）

	徒歩	電車バス	自転車	その他	合計
0～20 分	1	2	1	4	8
21～40 分	0	10	1	1	12
41～60 分	0	28	2	0	30
61 分以上	0	13	1	0	14
合計	1	53	5	5	64

令和元年度教職員定数

副校長

国語 2 地公 1 数学 2

理科 1 保体 2 英語 2

家庭 1 商業 0.5

養護 1

非常勤講師 2 (美術・音楽)

行政職員 3 (うち非常勤 1)

5 進路状況（過去 3 年間）

年度	進学	大学	短大	各種専門	就職	その他	卒業者数
H28	7	3	0	4	7	1	15
H29	7	1	2	4	7	7	21
H30	16	2	2	12	7	5	28

6 部活動（令和元年 5 月 1 日現在 数字は 3 年生を含む部員数※は校内での活動はないが高体連大会出場）

卓球 (7)、美術 (1)、パソコン (1)

以下同好会 バスケットボール (14) バドミントン (12) 軽音楽 (9) ※水泳 (1)

7 特色ある活動

(1) 学校設定科目での学習活動

「ベーシック」1 年次必修、2、3 年次教養コースでの学び直し授業

「チャレンジ」地域交流、体験型授業

(a) 学校林を活用した森林環境整備 (b) 西山大豆栽培 (c) 炭焼体験

(d) 大豆加工（味噌・豆腐・菓子づくり）等の活動

(2) 地域と連携した活動

①中条地区住民自治協議会への協力

(a) 球技大会 (b) カブトムシイベント (c) 地区運動会

(d) 虫倉まつり (e) 中条ふれあいまつり (f) 長寿を祝う会

②子供プラザでのボランティア活動

③SBC ラジオ「ろくちゃんの森」参加

(3) 習熟度、コース別の少人数学習

不登校経験のある生徒、特別な支援が必要な生徒、学習に遅れのある生徒が多いため少人数での学習により生徒支援の充実を図っている。

タイトル	生徒一人ひとりが成長を実感できる中条校
名称（学校・地域）	長野西高等学校中条校
日時・場所等	通年の取り組み
ホームページアドレス	http://www.nagano-c.ed.jp/nakajohs/



「生徒一人ひとりが成長を実感できる中条校」

中条校の特色ある科目（学校設定科目）

ベーシック（1年全員1単位 2年教養コース1単位 3年選択2単位）

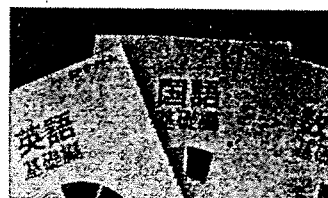
- 学習の基礎・基本を再確認し、高校で確かな学力を身につけます。
- 学年、進路希望などに応じて、きめ細やかな指導をします。

1年生 中学校までの国語・数学・英語の基礎的事項の学びなおしを行います。生徒一人ひとりの進度に応じた教材を用い、3人の職員が指導します。



2年生 引き続き基礎的事項の学びなおしを行います。

3年生 高校での学習内容を振り返りながら、進路希望に応じて、試験・小論文・面接対策や社会生活に向けてのSSTなどを行います。



チャレンジ（1年生 2単位 地域連携探究授業）

- 中条地域をフィールドに、地域の皆さんと関わりながら体験的な学習を行います。
- 地域を愛し、地域の将来を担うことができる人材の育成を図ります。

- 主な活動**
- ・小中高の連携による「西山大豆づくり」
 - ・カブトムシ飼育
 - ・「中条チャレンジの森（学有林）」の森林整備作業
 - ・炭焼き体験
 - ・「中条地区住民運動会」への全校参加
 - ・地域行事への参加
 - ・虫倉太鼓体験 など



令和元年 7 月 5 日

篠ノ井高等学校 犀峽校（地域キャンパス）の状況について

高校教育課

1 地域キャンパス化 平成 23 年 4 月

2 設置課程 全日制 普通科 <1 年次から進学コースまたは総合コースに分かれる>

3 在籍生徒数

年度	1 年	2 年	3 年	合計
H29	30	23	27	80
H30	24	26	21	71
R 元	12	22	23	57

4 通学方法と所用時間（令和元年度）

	徒歩	バス	自転車	その他	合計
0～20 分	0	3	4	4	11
21～40 分	0	3	6	2	11
41～60 分	0	20	0	0	20
61 分以上	0	15	0	0	15
合計	0	41	10	6	57

令和元年度教職員定数

副校長

国語 2 地公 1 数学 2
 理科 1 保体 1.5 美術 0.5
 英語 2 家庭 1 養護 1
 非常勤講師 3 人
 行政職員 4 人（うち非常勤 2）

5 進路状況

年度	進学	大学	短大	各種専門	就職	その他	卒業者数
H28	16	3	3	8	9		25
H29	21	4		16	6		27
H30	13	4	1	*8	*5	3	20

*H30 年度、各種専門のうち 1 名は医療機関勤務（就職）

6 部活動（令和元年 5 月 1 日現在 数字は 3 年生を含む部員数）

カヌー (10)、美術・写真 (5)、ボランティア (8)、音楽 (4)、バドミントン (11)

7 特色ある活動

- (1) 「進学」「総合」の 2 コース制をとり、国数英は少人数学習
- (2) 全校朝読書（毎日）
- (3) 地域の教育資源を活かした体験・交流的学習（カヌー授業、化石実習等）
- (4) 学校設定科目「スクエア」による 国数英の学び直し学習

タイトル	小さなキャンパスが拓く 大きな可能性
名称(学校・地域)	長野県篠ノ井高等学校犀峡校
日時・場所等	通年の取組
HPアドレス	http://www.nagano-c.ed.jp/saikyou



小さなキャンパスが拓く 大きな可能性

夢をかなえる学習指導

多様な希望に応じた進路指導

「学び直し」で基礎力充実

「個別指導」で実力養成

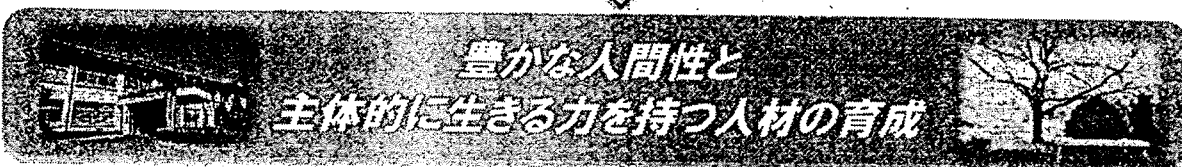


個々の指導計画作成
相談体制の確立

個に応じた指導

安心・安全な学校生活

一人ひとりの生徒に寄り添う教育



地域の教育資源を活かした教育

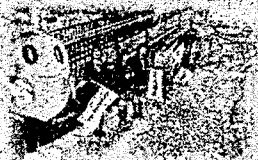
1 ボランティア的活動



遠足ボランティア



訪問ボランティア



交通安全運動



校外清掃ボランティア

2 地域の人材を活かした活



地域の人の進路講演



地域から学ぶ「犀川学」



地域での職場体験



能楽教室

3 自然を活かした活動



カヌー授業



地学実習

4 地域と連携した活動



地域イベントへの参加



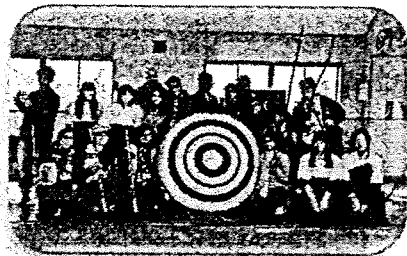
犀峡校デュアルシステム



タイトル	白馬で広がるグローバルな視野と無限の可能性
名称（学校・地域）	長野県白馬高等学校
日時・場所等	通年の取り組み
HP アドレス	http://www.nagano-c.ed.jp/hakubahs/

国際観光科新設！

白馬で広がるグローバルな視野と無限の可能性



多彩な国際交流

数多くの国・地域から白馬を訪れる訪日旅行団との交流、台湾への修学旅行、国際観光科の希望者は 2 年次ニューージーランドへ語学研修など、国際交流の機会が白馬高校にはたくさんあります。また、昨年、ブリティッシュスクール in 東京と本校との間で連携協定が結ばれ、相互の定期的な交流が行われています。



グローバル講演会

「自分らしい生き方」を考えるキャリア教育の一環として、世界の第一線で活躍する、さまざまな分野の著名な方をお迎えし「グローバル講演会」を開催しています。27 年度はミュージシャンの中西圭三さん、元宇宙飛行士の山崎直子さん、28 年度は星野リゾート代表の星野佳路さん、リッツカールトホテル元日本支社長の高野登さん等の講演会を行いました。



地域とともに学ぶ授業

この地域にある財産を活用し、地域を見つめ、フィールドワーク等を通して「自ら体験する」中で多くのことを学べる以下のような授業があります。

- ・自然環境についてさまざまなアプローチから学び、理解を深める「環境」
- ・観光的魅力に気付き、おもてなしの心を育み、発信する力を高める「観光」
- ・観光に特化した英語を学び、ホスピタリティマインドを養い、実際に外国人観光客への観光案内に挑戦する「観光英語」
- ・ヤフー株式会社と協働し、特色ある商品を生徒自身が開発した「商品開発」（「HAKUBA ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世バーガー」をプロデュースし、発売しました。）



しろうま學舎

平成 27 年 9 月に公営塾「しろうま學舎」が開講しました。都市部と比べて塾や家庭教師が少ないこの地域で学ぶ生徒の学力向上を目的に、白馬村と小谷村によって運営されます。個別指導を中心に、タブレット端末など ICT 機器を活用した、自立型の学習支援が行われています。また、社会人としての基礎力を養う、プロジェクト学習や「輝☆うぽ」など、公営塾ならではの取り組みが特徴です。



平成 30 年度 進路状況 (平成 28 年度入学生)

3 月 6 日集計

1、全体概況 進学 71.5% 就職 20.0% 2.8% 5.7%

%	42.9%	4.3%	24.3%		15.7%	4.3%		家居	留学	合計
	大学	短大	専門	小計	県内	県外	小計	自営	その他	
男	17	1	4	22	10	2	12	1	2	37
女	13	2	13	28	1	1	2	1	2	33
計	30	3	17	50	11	3	14	2	4	70

2、進路先(決定先のみ)

(1)大学 合格数 ただし、一般入試等の受験前および受験結果未確定の者は含まない。

信州大学理学部 1、長野県立大学グローバルマネジメント学部 1

早稲田大学スポーツ学部 1、立教大学法学部 1、明治大学商学部 1、明治大学政治経済学部 2

國學院大学法学部 1、日本大学文理学部 1、日本大学スポーツ科学部 1、専修大学経営学部 1、神奈川大学経済学部 1

亜細亜大学経営学部 1、桜美林大学リベラルアーツ 1、桜美林大学ビジネスマネジメント 1、大東文化大学経済学部 1

東京都市大学人間科学部 1、山梨学院大学スポーツ科学部 1、淑徳大学総合福祉学部 1、聖徳大学心理福祉学部 1

名城大学法学部 3、中京大学スポーツ学部 1、

京都産業大学国際関係学部 2、京都外国大学外国語学部 1

長野保健医療大学看護学部 1、修文大学看護学部 1、清泉女学院大学看護学部 1、金沢学院大学管理栄養学部 1

駿河台大学メディア情報学部 1、足利大学工学部 1、松本大学総合経営学部 1

(2)短期大学 合格数

松本短期大学介護福祉学科 2

白鳳短期大学総合人間学科 1

(3)専門学校 合格数

信州木曽看護専門学校 1、信州リハビリテーション専門学校 1、越谷保育専門学校 1

つくば国際ペット専門学校 1、未来ビジネスカレッジ 1、東京こども専門学校 1、東京ビューティーアート専門学校 1

代々木アニメーション学院 1、国際ビューティーマード専門学校 1、日本工学院専門学校 1、大原学園松本校 1

織田きもの専門学校 1、ベルエポック美容専門学校 1、総合学園ヒューマンアカデミー横浜校 1

日本外国語専門学校 1、松本理美容専門学校 1、関東馬事専門学院 1、NIC 専門学校 1

(4)就職 内定者数

株式会社白馬東急ホテル 1、白馬館 1、白馬 EX アドベンチャー株式会社 1、トロイメライ 1

株式会社白馬三洋加工紙 1、株式会社信越電装 2、株式会社レジトン大町工場 1、

株式会社デンソーエアークル小谷 1、社会福祉法人孝明孝松館 1、デンカ株式会社青海工場 1

共和興業(株) 1、SINFONIA 1